

中国研究科

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

【修士課程】

中国研究科修士課程では、本学の研究教育の基盤であり伝統でもある中国研究に特化しており、人文・社会各分野が横断的に組織され、人文・社会各分野の研究を総合する能力を持った高度専門職業人、及び研究者養成を目的とし、それをめざす意思と能力を持った学生を求めています。具体的には、修士課程においては、中国語文献の講読解析能力を土台に、相当の中国語能力（中国語検定2級、新HSK5級、もしくはそれと同等の語学力）およびそれに相応する英語などの外国語能力、中華世界全体を俯瞰しうる幅広い視野と知識、その裏付けとなる問題意識と教養が求められます。在籍者の多数を占める留学生に対しては、日本における膨大な中国研究の蓄積を批判的に摂取しうるだけの日本語能力（日本語能力試験N1レベル、もしくはそれと同等の語学力）も当然ながら要求されます。

【博士後期課程】

中国研究科博士後期課程では、本学の研究教育の基盤であり伝統でもある中国研究に特化しており、人文・社会各分野が横断的に組織され、人文・社会各分野の研究を総合する能力を持った高度専門職業人、及び研究者の養成を目的とし、それをめざす意思と能力を持った学生を求めています。具体的には、博士後期課程においては、基本的かつ広い視野を持ち、新たな研究分野を開拓し、学界の発展に寄与しうる一定の研究能力を持つ学生を期待しています。

また、中国人民大学、南開大学及び東呉大学との間でデュアルディグリー・プログラムが実施されており、専門分野についての諮問が行われます。分拠点学生においては上述の能力に加え、日本語及び原典を記した外国語の専門文献の読解能力が要求されます。また本学から分拠点大学に行く学生にも同様に、専門分野に関する知識や分析能力、中国語及び原典に記された外国語の専門文献の読解能力が要求されます。